

# 今月の草花と春の用意

大 岩 金

秋も次第にたけて、うら淋しい景色の中に咲き匂つてゐる秋草も、夏以來咲き續けの草花も今しばらくの眺め、心ゆくまで觀賞もし花後の始末も致しませう。

先づ今月の覇をなすものは菊花でありませう。その外、觀葉植物としてアルタナンセラ、コリウス、イレシ子等はえもいはれぬ紅葉、黄葉それ／＼の美をあらはして居ります。又トレニアの群生してゐる花壇はもなかく／＼に美事であります。先月に續く眞赤な花のサルビヤ、赤、黄、絞りのごのケイトウ、ハゲイトウ、丸く育つた草姿の面白く紅葉したハナホキグサ、或はコスモスなご種子交りながらもまだ捨て難い眺めであります。また第二回目開花のダーリアは初夏のそれにもまさる花色を見せ、濃艶なカンナもまだ人目を引いて居ります。眞白いスキートアリッサム何ごいふ長い開花でせう。春以來時にはもう終りがと思はれるばかりに衰へる事もありますが、また何時の程にか勢力がつか

き幾回もなく咲きかはり、全面白毛氈を敷きつめたやうであります。尙その外に開花期の長い花として百日草、千日草、是等もまだ次から次へに花をつけて居ります。半ば種子になつたカカリア、ハルシヤギク、ムギワラギク、マンジュギク等も鉢を手にした人々をよび止めて居ります。

既に觀賞の價値のないもので採種用に殘してありますものは申すに及ばず、今尙開花してゐる草花のうちでも、種子の熟して居りますものは觀賞のかたはら機を逸せず採種しておく事が必要であります。殊にサルビヤは寒さに弱く、自然に落ちた種子ではほんご發芽しないものであります。

又觀葉植物のアルタナンセラの類も宿根性草ではありませんが、不堪寒性でありますから、是等は繁殖用として豫め霜害におかされぬうちに鉢にぎり温室内に取り込む必要があります。

次に來る春の花園を賑あはす爲にまだ用意出來てゐない

所は出来る限り早くすませたいものと思ひます。

そのうち今回はなるべく手数のかゝらない宿根性のものに就て簡単に述べたいと思ひます。

花園の縁取り用のもの

## 一、ヒナギク

餘程古くから栽培されてゐるもので、誰にも馴染の種類の赤や白の小さいまりのやうな花が極く矮性の茂り合つた葉間から咲き出てる状態は誠に愛らしい感じのするものがあります。現今では是等の小花ばかりでなく大輪種で色の淡色もあります。然して唯に縁植に適するばかりでなく、毛氈花壇なぎに植ゑ出して一層人目を引くものであります。

繁殖は播種によりましても株分によりましても容易であります。翌春五月頃から夏頃までずつこ長く咲きつゞけるものであります。

## 二、モツスフロックス

常緑の矮性種でその枝は常に地を匍匐し極めて株張りのよいものであります。開花は三月下旬から四月中續き、五瓣花の小花で花色にも淡紫、牡丹色なぎ種々あつて誠に可

愛らしいものであります。

繁殖は株分又は挿芽による事が最も普通であります。秋に地に擴がつてる匍匐枝を切り取ります時は、その地に接した所々から根を下してゐる事が多々ありますから、是を適宜の長さに切り是を一株／＼として植ゑ付けておきます時はやがて始めのやうな立派な一株になります。その後は時々油粕の腐汁なぎの液肥を施しますれば、四時綠葉が茂り縁植用としては極めて恰好なものであります。

## 三、プリムラポリアンサス

陽春四月中下旬群生してゐる矮性の葉間から花梗をぬき出しその先に十數個の櫻花に似た小花を開いた状態はさながらに春の氣が地に満ちた感があります。濃淡の赤、黄、白に植ゑれば色々變つた模様も織り出されます。

栽培は容易で繁殖は秋季株分による事が普通であります。そして寒さにはなかく、丈夫であります。大抵の場所ならば霜除の必要はありませんが、葉の密生してゐる點から、夜盜蟲の潜在する事が屢々ありますので、被害の大きな時はほんのさきの葉を網の目のやうにする事さへありますから初夏と秋季の發生期には特別の注意をして驅除しな

ければなりません。

#### 四、アルメリア

和名を松葉小櫻云つて居りますが、名の如く葉は松葉に似て花は櫻花を小さくしたやうで、是が多數集つて一花梗について居ります所は丁度簪のやうに見えますので又の名をマツバカンザシとも呼んで居ります。極短い株張りのよい葉群の中から花梗をぬき出し五月から六月にかけて長期間濃桃色の花を咲き揃へました状は是又他にゆづらぬ美観であります。

栽培法もさまでむづかしくなく、秋季株分によるのであります。是は支根が少ない爲、この點に注意する事。夏季の灌水を怠らない事が栽培の要點であります。

その外、縁取用としてはリボングラス、ギボウシ、タチテシモンドウなどがしばしば用ひられ是等は株分に依つて繁殖する事が出来ますし、白丁花は挿木に依つて思ふ丈繁殖させる事が出来ます。

次に縁取の出来ました花園の中に植え込まれる宿根性の草花を申しますれば、

#### 花名

#### 繁殖法

デキタリス

株分又は播種

シヤクヤク

芽分

宿根ケシ

株分

シヤスターデージー

株分又は播種

西洋オダマキ播種後三年目から開花

ストケシア株分、播種したものは三年目から開花

ペントステモン挿木又は株分

ミヤコワスレ 株分

タチアホヒ 播種後三年目から開花

球根類ではチューリップ、ヒヤシンス、水仙類、クロッカス、オーニソガラム、トリテリア、シラン、イリス類などが主なものでありまして、是等を夫々色の配合、花と葉との調和、栽植の模様工夫等を巧に致します時は、やがて来る春にはごんなにか美しい花園が眺められます事です。要は一時も早くして頂きたい事でありませう。寒くなりましては普通ならば除霜の設備を要さないものも亦除霜してやらなければならぬやうになる事が屢々あるのであります。